

標 題 : Dietary inflammatory index or Mediterranean diet score as risk factor for total and cardiovascular mortality.
総死亡率および心臓血管系死亡率の危険因子としての
食事性の炎症指数または地中海食事スコア

著 者 : A. M. Hodge, et al. (オーストラリア メルボルン Cancer Council Victoria
がんの疫学・情報部)

掲 載 誌 : Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 2018 May; 28(5): 461-469

要 旨 :

背景と目的 : 食事パターンは心臓血管系疾患のリスクと関連する。

食事性の炎症指数および地中海食事スコアと総死亡率、心臓血管系疾患および冠状動脈性心疾患の死亡率との関連を「メルボルン共同コホート研究」で調べて、関連の強さを比較することを、我々は目的とした。

方法と結果 : 40-69歳の男性と女性41,513人による我々の追跡コホート研究で、食品頻度アンケートを開始時に完了し、死亡率データを地域および国家の登録との連係で平均19年間にわたって得た。

開始時に、アンケートを完了し、身体計測および血液サンプルを採取した。

年齢、アルコール摂取、性別、出身地域、心臓血管系疾患または糖尿病の病歴および心臓血管系疾患の家族歴を調整したCox比例ハザードモデルを使用して、食事スコアと死亡率との間の関連を評価した。

多い地中海食事または少ない炎症性食事は、低い総死亡率、心臓血管系疾患および冠状動脈性心疾患の死亡率と関連した。

総死亡率のハザード比は、食事性の炎症指数の最高と最低(5段階)を比較すると1.16(95%CI:1.08-1.24)であったが;地中海食事スコア3段階の最高と最低を比較すると0.86(95%CI:0.80-0.93)であった。

ベイズ情報量基準を使用すると、食事性の炎症指数の点数が地中海食事スコアよりも強く総死亡率および心臓血管系疾患の死亡率と関連する、との証拠はなかった。

結 論 : 地中海食事スコアおよび食事性の炎症指数は総死亡率および心臓血管系死亡率と同様な関連を示しているため、植物性の食事は健康に有益であるとの合意と一致する。

著作権 © 2018 イタリア糖尿病学会、イタリア動脈硬化研究学会、イタリアヒト栄養学会、およびフェデリコ2世大学 臨床内科・外科学部。

Elsevier B.V.が発行。著作権所有。

キーワード： 心臓血管系疾患、冠状動脈性心疾患、食事情報指数、疫 学、
地中海食事スコア、死亡率、追 跡
